

# 第24回 商社対抗野球大会

5月10日(金)から19チームが参加して行ってきた第24回商社対抗野球大会は、7月30日(火)午前6時よりの決勝戦で、小川(株)Aが(株)五井建築設計研究所、東山メタルビル工業(株)連合チームを破り、6年ぶり3回目の優勝を遂げた。

- 優勝 小川(株)Aチーム
- 準優勝 (株)五井建築設計研究所 連合チーム
- 第三位 (株)川助
- 〃 北村電機産業(株)Aチーム

- 最優秀選手賞 山本 陸 小川(株)
- 敢闘賞 宮川 純 (株)五井建築設計研究所
- 打撃賞 丸川正弘 小川(株)



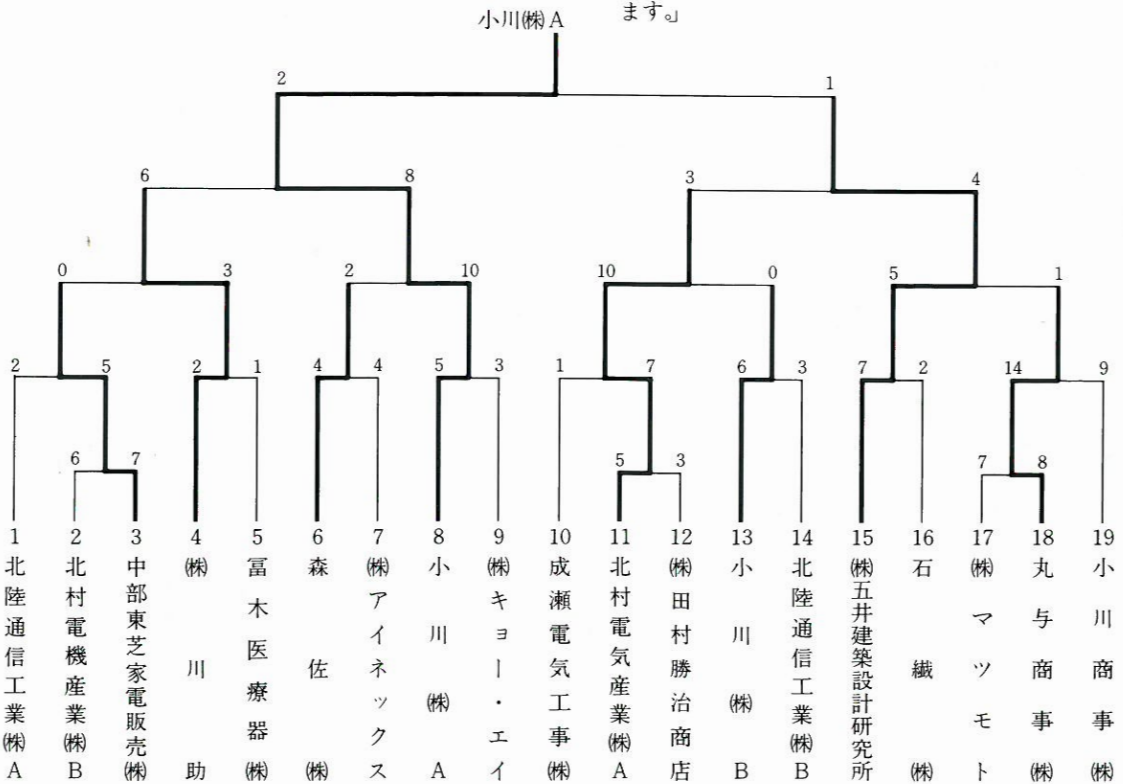
優勝 小川(株)Aチーム



山本 陸 選手 準優勝 (株)五井建築設計研究所・東山メタルビル工業(株)連合チーム

### 小川(株)Aチーム 小川監督の話

「あらためて振り返ると苦しい試合の連続でしたが、チーム一丸となり、幸運にも恵まれてここまで来ました。①見逃し三振をしない、②明るく元気に、③ケガをしない、の3つのモットーで来年も頑張ります。」



# 金沢問屋センターニュース 1991.8 No. 50

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585 ●発行者/小川甚次郎



## 新物流団地の建設に向けて

(協)金沢問屋センター  
理事長 小川 甚次郎

去る5月23日開催の当組合第28回通常総会は、全議案原案通りご承認をいただき厚く御礼申し上げます。昨年度の組合運営は当初の計画案どおり、順調に進捗いたし、組合の財政も共同事業の一層の推進により黒字決算となりました。組合員各位のご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の我が国経済を取巻く環境を振り返りますと、国際的には、中東湾岸戦争や、アメリカ経済の景気後退が見られ、国内的には前半の順調な景気の推移にくらべ、後半に入り、高金利政策による引き締め基調から、住宅投資や個人消費がややぶくなり、「薄曇りの感じ」の年でありました。

本年度は金利高や、人手不足などの要因から先行き不透明で、「かげりの見える年」となりそうではありますが、それに対応した積極的な努力が必要と思います。

このような中で、本年度、組合としては「新物流団地建設」を中心とした、団地再整備事業の計画立案を柱とした事業展開を考えております。当団地も完成後24年を経過し、それに伴い団地全体が狭隘化し、団地内で機能強化を図る増設が不可能な組合員と組合の物流施設の建設のため、団地外に用地を求め、物流機能の移転を柱とした新団地を造成しようというものです。

現在、物流改革推進委員会が、国・県の補助事業である地域中小卸売業活性化推進事業の中で、共同配送を中心とした物流基地建設を、調査、研究しており、今年度末に出るその結果も参考にして、計画、立案を行いたいと考えております。

本年度は、役員が改選され、新役員も増えましたので、これら諸事業の推進にあたっては、新しい感覚で役員一致協力して、明日に向けて努力致しますので、組合員各位の尚一層のご協力をお願い申し上げます。



# 第28回 通常総会開催

当組合の第28回通常総会は、5月23日(木)午後2時より金沢流通会館大ホールパルスで開催され、全議案が原案通り承認された。

1. 開催期日 平成3年5月23日 午後2時
2. 開催場所 金沢流通会館
3. 組合員総数 140人
4. 本人出席 76人
5. 委任状出席 53人
6. 議長 小川三郎
7. 議案審議の状況

司会者より出席定数が過半数を超えているので本通常総会は成立する旨報告後、議案の審議に入った。

### 第1号議案

平成2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認及び監査報告の件

### 第2号議案

平成2年度剰余金処理(案)承認の件

### 第3号議案

平成3年度事業計画(案)承認の件

### 第4号議案

平成3年度収支予算(案)並びに賦課金の賦課徴収方法承認の件

### 第5号議案

平成3年度組合借入金の最高限度額及び1組合員に対する貸出限度額承認の件

### 第6号議案

理事改選の件



### 第7号議案

役員報酬の件

以上を上提し、全て全員異議なく承認した。議長は議案を終了した旨を告げ、午後3時15分閉会した。

### ◆来賓出席者

- 中西石川県知事
- 斉藤石川県商工労働部次長
- 古沢金沢市経済部長
- 安田石川県中小企業団体中央会会長
- 井上商工中金金沢支店長
- 三枝北國銀行問屋町支店長
- 水持北陸銀行金沢問屋町支店長
- 森 金沢信用金庫問屋町支店長
- 鈴木三菱銀行金沢副支店長

# 経営者研修会 (第28回通常総会記念講演会) 開催

通常総会終了後、引き続き午後3時30分より経営者研修会を開催し、NHK解説委員長としておなじみの小浜雅人氏を招き「国際情勢と政局の動向」と題して行なわれた。

湾岸戦争後の日米関係やソ連情勢について約100名を前に1時間50分にわたり、ご講演いただいた。



# (協)金沢問屋センター 役員名簿

|      |       |                |     |    |      |           |     |
|------|-------|----------------|-----|----|------|-----------|-----|
| 理事長  | 小川甚次郎 | 小川             | (株) | 理事 | 井上三郎 | 金沢機工      | (株) |
| 副理事長 | 越原哲郎  | コシハラ           | (株) | "  | 丸岡信一 | マルシン      | (株) |
| "    | 宗廣満夫  | 山和             | (株) | "  | 島崎政幸 | 島崎        | (株) |
| "    | 荒木登   | 荒木商事           | (株) | "  | 若林智雄 | 寿商        | 会   |
| "    | 川上嘉一  | 川上産業           | (株) | "  | 紙谷邦蔵 | 紙谷物産      | (株) |
| "    | 高桑健治  | キョー・エイ         | (株) | "  | 川崎晃  | 川崎        | (株) |
| "    | 八田隆年  | 丸与商事           | (株) | "  | 矢部嶺男 | フィドニー     | (株) |
| "    | 富木昭光  | 富木医療器          | (株) | "  | 黒梅吉英 | 丸一商店      | (株) |
| 専務理事 | 金子哲夫  | (協)金沢問屋センター事務局 |     | "  | 松村克雄 | 尚和印刷      | (株) |
| 理事   | 小川三郎  | 小川商事           | (株) | "  | 堀川善昭 | 堀川商店      | (株) |
| "    | 山田治男  | 石織             | (株) | "  | 湯浅泰夫 | 湯浅惣兵衛本店   | (株) |
| "    | 永井榮一  | 山善永井           | (株) | "  | 田村憲司 | 田村勝治商店    | (株) |
| "    | 多田与二  | 多田与            | (株) | "  | 成瀬巖  | 成瀬電気工事    | (株) |
| "    | 来馬満春  | 丸昌             | (株) | "  | 岡本進  | 岡本        | (株) |
| "    | 南川善智  | 東和工業           | (株) | "  | 石崎皓三 | 石川日産自動車販売 | (株) |
| "    | 玉井義昭  | タマイ            | (株) | "  | 島田良造 | 島田商事      | (株) |
| "    | 高桑茂雄  | 北陸通信工業         | (株) | "  | 伊藤淳蔵 | アイネックス    | (株) |
| "    | 西谷弘次  | 丸西食品工業         | (株) | 監事 | 多田成喜 | 賛協        | (株) |
| "    | 楠幸雄   | クスノキ           | (株) | "  | 大田敬祐 | 北日商事      | (株) |
| "    | 上野英吉  | 石川トヨベツト        | (株) |    |      |           |     |

# (協)金沢問屋センター 委員会編成

◎委員長  
○副委員長

### ■総務委員会

|            |    |       |
|------------|----|-------|
| 丸西食品工業(株)  | 会長 | ◎西谷弘次 |
| 成瀬電気工事(株)  | 社長 | ○成瀬巖  |
| 相川商店       | 店主 | 相川徳雄  |
| 石川ゴム製品(株)  | 社長 | 堀江一雄  |
| 小川(株)      | "  | 小川利郎  |
| 金沢シュランク(株) | "  | 林實    |
| 加陽月星ゴム(株)  | "  | 竹内重則  |
| (株)小鍛冶本店   | "  | 今井豊造  |
| (株)小堀酒造店   | 所長 | 瀧下竹男  |
| (株)賛協      | 社長 | 多田成喜  |
| 多田与(株)     | "  | 多田与二  |
| 太洋興業(株)    | 所長 | 井上兵基  |
| (株)内外電機製作所 | "  | 館雅喜   |
| 南陽(株)      | "  | 川那辺祥吉 |
| 東(株)       | 社長 | 東清    |
| (株)北陸衣料商会  | "  | 中村外喜雄 |

|              |        |
|--------------|--------|
| (株)丸菱社長      | 米浜栄一   |
| 東山メタルビル工業(株) | " 飯山輝雄 |
| 北陸タイヤ(株)     | " 原功   |

### ■財務委員会

|         |    |       |
|---------|----|-------|
| (株)山善永井 | 会長 | ◎永井栄一 |
| (株)マルシン | 社長 | ○丸岡信一 |
| 一恵商店    | 店主 | 坂川栄一  |
| (株)井口商店 | 社長 | 井口総一郎 |
| 岩崎(株)   | "  | 岩崎直一  |
| 明希(株)   | 専務 | 坂本勇   |

### ■事業委員会

|            |    |       |
|------------|----|-------|
| (株)紙谷物産    | 社長 | ◎紙谷邦蔵 |
| (株)湯浅惣兵衛本店 | "  | ○湯浅泰夫 |
| 小川商事(株)    | "  | ○小川栄一 |
| 石織(株)      | "  | ○山田治作 |
| 小川(株)      | 専務 | 横井隆志  |

(株) 川 助 社 長 川端 嘉平  
 (株) た な か や " 田中 清隆  
 藤 木 工 業 (株) " 藤木 顕世  
 北 陸 通 信 工 業 (株) 専 務 辰川 伸一  
 丸 与 商 事 (株) 社 長 野尻 安司  
 (株) 室 七 " 室 七藏

■金融委員会

東 和 工 業 (株) 会 長 ◎南川 善智  
 岡 本 (株) 社 長 ○岡本 進  
 小 倉 (株) " 小倉外志朗  
 (株) 土 谷 九 兵 衛 商 店 " 土谷 茂  
 北 日 商 事 (株) " 大田 敬祐

■労務委員会

北 陸 通 信 工 業 (株) 社 長 ◎高桑 茂雄  
 (株) 東 山 商 会 会 長 ○道上 明  
 丸 西 食 品 工 業 (株) 社 長 ○西谷 憲三  
 小 川 (株) 部 長 岩上 正康  
 (株) 樫 村 金 沢 支 店 支 店 長 伊藤 輝雄  
 (株) キ ョ ー ・ エ イ 部 長 坂本 弘  
 東 和 工 業 (株) 専 務 佐藤 昭典  
 丸 与 商 事 (株) 室 長 石山外司郎  
 (株) ヤギコーポレーション 常 務 平川 照治

■厚生委員会

(株) 田 村 勝 治 商 店 社 長 ◎田村 憲司  
 川 崎 (株) " ○川崎 晃  
 ウ ィ ル ビ ー (株) " ○加藤 肇夫  
 (株) ウ ィ ン ズ " 植竹 格  
 (株) 大 沢 商 店 " 大沢 忠之  
 大 坪 商 事 店 主 大坪 顕伸  
 北 島 (株) 常 務 矢島 正男  
 弘 進 ゴ ム (株) 社 長 今井 仁  
 齊 田 ベ ビ ー (株) " 齊田 泰吉  
 齊 田 商 店 店 主 齊田 八平  
 サ ン デ ン 販 売 (株) 所 長 内藤 信彦  
 須 田 (株) 常 務 後 滋  
 多 田 与 (株) " 多田 利明  
 塔 島 (株) 社 長 塔島 彦夫  
 ナ カ ダ (株) 部 長 木村 正雄  
 西 本 産 業 (株) 所 長 伊藤 喜吉  
 福 助 (株) 支 店 長 磯部 和市  
 (株) モ ー ド ラ サ 部 長 中田 武  
 丸 宮 商 工 (株) 社 長 宮本 善司  
 山 和 (株) 部 長 島本 元三

タ ケ ム ラ (株) 専 務 竹村 信一  
 (株) 橋 爪 商 会 橋爪 弥寿雄

■建設委員会

(株) 丸 昌 社 長 ◎来馬 満春  
 ク ス ノ キ (株) " ○楠 幸雄  
 川 上 産 業 (株) 部 長 吉田 昌喜  
 北 村 電 機 産 業 (株) 社 長 北村 武司  
 (株) 五 井 建 築 設 計 研 究 所 " 新村 利夫  
 三 和 通 商 (株) " 北村 理一  
 (株) 星 光 堂 所 長 大倉 博  
 ハ ッ ト リ 産 業 (株) 社 長 服部 厚三  
 北 陸 ペ イ ン ト (株) " 山田 修三  
 (株) マ ツ モ ト 会 長 松本 晴吉  
 丸 石 自 転 車 (株) 所 長 水庫 正功  
 山 村 (株) 専 務 山村 英一  
 石 川 立 山 サ ッ シ 販 売 (株) 常 務 前馬 聡

■企画委員会

(株) 丸 一 商 店 社 長 ◎黒梅 吉英  
 島 田 商 事 (株) " ○島田 良造  
 森 佐 (株) " ○森 昭夫  
 石 川 ト ヨ ペ ッ ト (株) " 上野 英吉  
 金 沢 機 工 (株) " 井上 三郎  
 (株) キ ョ ー ・ エ イ 専 務 高桑 幸一  
 ク ス ノ キ (株) 社 長 楠 幸雄  
 (株) コ シ ハ ラ 専 務 越原 悠三  
 (株) 山 善 永 井 社 長 永井外志明  
 明 希 (株) " 石黒 裕明  
 丸 六 (株) " 篠原 勉  
 糸 生 (株) " 小阪 邦弘

■広報委員会

島 崎 (株) 社 長 ◎島崎 政幸  
 (株) 寿 商 会 " ○若林 智雄  
 一 恵 商 店 専 務 坂川 恵造  
 尚 和 印 刷 (株) 常 務 山口 貞雄  
 玉 田 商 事 (株) " 越田 文夫  
 (株) ト ル ハ ー ト 副 社 長 田中 隆弥  
 ナ カ ダ (株) 社 長 中田 外義  
 (株) 前 垣 所 長 北村 正一朗  
 理 光 商 事 (株) 社 長 田川 孝三  
 大 宗 (株) " 大西 憲治

尚 和 印 刷 (株) " 松村 克雄  
 協 同 組 合 金 沢 問 屋 セ ン タ ー 専 務 理 事 金子 哲夫

■情報化特別委員会

(株) 堀 川 商 店 社 長 ◎堀川 善昭  
 フ ィ ド ニ ー (株) " ○矢部 嶺男  
 荒 木 商 事 (株) " ○荒木 徹  
 北 陸 通 信 工 業 (株) 専 務 辰川 伸一  
 石 川 ゴ ム 製 品 (株) 社 長 堀江 一雄  
 石 織 (株) 次 長 安田 求  
 齊 田 ベ ビ ー (株) 社 長 齊田 泰吉  
 島 田 商 事 (株) " 島田 良造  
 森 佐 (株) " 森 昭夫  
 小 川 (株) 課 長 丸山 伸二  
 (株) 川 助 部 長 東 文雄  
 須 田 (株) 取 締 役 須田 照彦  
 (株) オ ー タ ニ 専 務 大谷 忠臣  
 久 江 田 (株) 社 長 久江田 義久  
 (株) 山 善 永 井 " 永井外志明  
 富 木 医 療 器 (株) 常 務 富木 誠一

■人材確保検討委員会

(株) ア イ ネ ッ ク ス 社 長 ◎伊藤 淳蔵  
 小 川 商 事 (株) " ○小川 栄一  
 丸 西 食 品 工 業 (株) " 西谷 憲三  
 ウ ィ ル ビ ー (株) " 加藤 肇夫  
 富 木 医 療 器 (株) 部 長 水口 清隆  
 北 村 電 機 産 業 (株) 課 長 北 明夫  
 (株) マ ツ モ ト 常 務 岡本 輝明  
 理 光 商 事 (株) 社 長 田川 孝三  
 (株) ヤギコーポレーション 部 長 笠間 晃

■物流改革推進委員会

フ ィ ド ニ ー (株) 社 長 ◎矢部 嶺男  
 (株) 湯 浅 惣 兵 衛 本 店 " ○湯浅 泰夫  
 (株) 堀 川 商 店 営 業 本 部 長 ○堀川 善次  
 (株) ア イ ネ ッ ク ス 社 長 伊藤 淳蔵  
 荒 木 商 事 (株) " 荒木 徹  
 石 織 (株) " 山田 治作  
 (株) 川 助 部 長 東 文雄  
 (株) キ ョ ー ・ エ イ 専 務 高桑 幸一  
 (株) コ シ ハ ラ " 越原 悠三  
 (株) 寿 商 会 社 長 若林 智雄  
 須 田 (株) 取 締 役 須田 照彦  
 富 木 医 療 器 (株) 常 務 富木 誠一  
 (株) 丸 一 商 店 社 長 黒梅 吉英  
 (株) マ ル シ ン " 丸岡 信一

■環境整備委員会

尚 和 印 刷 (株) 社 長 ◎松村 克雄  
 (株) オ ー タ ニ 専 務 ○大谷 忠臣  
 ア サ ヒ 冷 機 店 主 東藤 价介  
 石 川 日 産 自 動 車 販 売 (株) 所 長 牧口 吉栄  
 エ イ ワ 機 工 (株) 社 長 永尾 高士  
 織 田 寝 具 (株) " 織田 末男  
 カ ナ カ ン (株) 所 長 大浦 慶明  
 金 沢 問 屋 町 急 便 協 同 小 組 合 理 事 長 正和 俊雄  
 (株) ス ズ ケ ン 課 長 福島 征夫  
 泰 和 ゴ ム 興 業 (株) 社 長 藤本 民子  
 大 王 製 紙 (株) 所 長 長田 哲明  
 中 央 自 動 車 工 業 (株) " 佐藤 馨  
 中 部 東 芝 家 電 販 売 (株) 部 長 佐々木 健一  
 ト ー ヨ タ イ ヤ 北 日 本 販 売 (株) 社 長 森廣 建彦  
 ト ナ ミ 運 輸 (株) 支 店 長 小川 克昭  
 東 洋 精 器 工 業 (株) 所 長 佐伯 英夫  
 同 信 産 業 (株) " 浅谷 茂  
 中 嶋 帽 子 店 主 中嶋 正治  
 中 西 産 業 (株) 社 長 中西 藤夫  
 (株) ノ ワ キ " 野脇 功  
 百 萬 石 酒 造 (株) 支 店 長 松田 繁  
 北 陸 プ レ ミ ア ム (株) 社 長 池端 達  
 (株) マ キ シ ン コ ー 所 長 松浦 宏施  
 (株) 丸 吉 " 小森 雅芳  
 (株) 丸 吉 商 店 社 長 宮 宣雄  
 (株) マ ツ モ ト シ ャ ッ " 松本 光也  
 (株) 八 木 熊 所 長 白崎 昭喜  
 山 之 内 (株) 部 長 指原 浩一  
 (株) 吉 野 利 工 具 社 長 吉野 竹英  
 (株) ネ ー ミ ン グ こ し の " 越野 勉  
 新 電 子 (株) 所 長 大崎 多喜生

■金沢流通会館運営委員会

富 木 医 療 器 (株) 社 長 ◎富木 昭光  
 成 瀬 電 気 工 事 (株) " ○成瀬 巖  
 小 川 商 事 (株) 会 長 小川 三郎  
 岡 本 (株) 社 長 岡本 進  
 島 崎 (株) " 島崎 政幸  
 北 陸 通 信 工 業 (株) " 高桑 茂雄  
 (株) 丸 昌 " 来馬 満春  
 (株) マ ル シ ン " 丸岡 信一  
 (株) 田 村 勝 治 商 店 " 田村 憲司  
 金 沢 機 工 (株) " 井上 三郎  
 (株) 紙 谷 物 産 " 紙谷 邦蔵

## 新委員長の抱負



企画委員会

委員長 黒梅吉英

光陰、矢の如し。早いもので余り好きでなかった仕事を受けつぎ25年の年月を数えます。しかし最近では夢中になるほど仕事への興味の尽きぬところと思っています。さらに会社の経営理念など考え、社員と共に理想の会社づくりに夢をふくらませています。一つ適正な利潤を追求する。一つ人を育てること。一つ社会に報恩できることなどですが、いまだ進歩がないのが現実です。まだまだ奥深いものを感じる今日、この頃です。おかげ様で問屋センターに加入させていただいてから少しづつ変わってきた気がいたしております。これもひとえに多くの先輩方のご指導とお世話のお陰と感謝しております。今、この輪の中で商人としての生きがいを感じています。

このような時、組合の企画の仕事を与えられ、平素、自分の生活をさせていただいている地域社会に対して、何が出来るかを考えていたことでしたので、日頃のご恩がえしと引き受けてみたものの、今、戸



環境整備委員会

委員長 松村克雄

問屋センターの皆さん！「ゴミ」を拾ったことがありますか。「雑草」をむしったことがありますか。「ほうき」や「かま」を持って掃除をしたことがありますか。

「メジャー英首相はロンドンで開かれた国際環境会議で演説、来年6月ブラジルで開かれる国連地球サミットに出席し、環境保護のための広範囲な国際的合意達成を目指す計画を発表した。それによると英政府が環境保全の総合的な国家機関を新設、これは現存する諸機関を統括するもので、大気・河川汚染の監視はもとより環境保護のための各種計画を立案し、「環境警察」といった性格を帯びた機関になる予定という」(読売新聞より抜粋)

というように昨今の環境問題は世界的に大きな問題となっているのは皆様もご存知のとおりであります。地球規模の環境問題と共に、身近な問題としてゴミの問題も各地で捨て場やリサイクル等が検討されていますが、特に産業廃棄物の処理問題が将来の大きな課題として、真剣に取り組む必要があると考えます。

惑いと不安で一杯であります。これも生来の良しにつけ悪きにつけの自分の性格のせいと反省を致しております。

さて、世界は湾岸戦争のあと、ソ連を始めとする社会主義の崩壊、絶えることのない災害と紛争、国内でも火山の爆発、政治経済の矛盾、非常に厳しい変化の時代を迎えています。見方を整理すれば、グローバル化時代、技術革新の時代、個性化・差別化の時代、情報化の時代、高令化の時代、3K・5Kの労働不足の時代と言えるかも知れません。このような時の大役ですので、あらゆる方面より情報をあつめ、分析していかねばと思っております。長期的、短期的、世界的、地域的にもものを良く見ながら次にどうなる、そしてどうするかの方角を考えたいと思っています。変えてはいけないもの、変えなくてはならないものの区別をはっきりしていく必要があると思っています。

委員会の皆様、そして組合員の皆様と良く話し合い、将来に向けて仲よく、社会に役立つ会社、団体を作り上げるために微力ではあると思いますが、全力を尽したいと思っています。

当センターの環境整備委員会では年間の事業として ①側溝泥上げと一斉清掃(6・12月の年2回) ②古タイヤ有料回収(年1回) ③不燃物有料回収(年2回)を例年行ってまいりましたが、今年度は新たに歩道上の雑草駆除のために除草剤の散布(メイン通りの目立つ所、例えばバス停周辺等)を試験的に実施致します。

不燃物有料回収も、年2回から3回に増やすことを検討致しておりますし、視察研修旅行も計画中であります。一斉清掃の時に出るゴミの山、日常の道路に投げ捨てられている空き缶・タバコの空箱・灰ガラ等々(こんな人は缶ジュースやタバコを飲む資格なし!!)。

捨っても拾っても捨てる人とのイタチゴッコの毎日です。一人一人のマナーの向上に訴えるしかありません。まず自分から、家族へ社員へと「捨てるよりも捨てない運動展開」によりこの問屋センターも金沢も日本全体に美しい街並が生まれてくると信じております。

環境整備委員会メンバー30数名、汗をかいて頑張っておりますのでご理解とご協力を頂きますと共に、問屋センター発展のために、微力ながらも精進致す所存でございますので今後共よろしくお願い致します。

「捨てるよりも捨てない運動を、」



情報化特別委員会

委員長 堀川善昭

当委員会は近代化研究会、活路開拓事業委員会、企画委員会と永年にわたっての共通研究課題である「集団化メリットを生かす金沢問屋センターのビジョン作り」の中から出てきた「情報の共同化」が原点であります。そして、それをより積極的に、主導的に推進するために共同利用型地域流通VANを作るという宏大な使命を持って、平成元年四月に富木昭光氏が委員長に就任して発足したのです。

初年度はこの計画遂行に都合の良い組織形態と運営委託企業の選定、採算性の問題等について、先進地でもある仙台及び南東北流通団地への視察研修をも含めて、調査、研究を行いました。二年目には㈱ヴァンガード金沢を組合と組合員有志を中心に会社設立し、テスト業務開始までこぎつけたのも各位にはご承知のとおりであります。

そこで本来ならばこの委員会の役割は一応おわったことになるのですが、この会社の経営がもう少し軌道にのるまでバックアップするという事で、今年も継続することとなり、私が担当いたしました。



人材確保検討委員会

委員長 伊藤淳蔵

平成3年度金沢問屋センター新任の理事として拝命いたし、右も左も判らない小生ですが、その上、突然人材確保検討委員会の委員長を命ぜられ心の整理がつかず困惑している折、今度は広報誌に「新委員長の抱負」と題して執筆の依頼ですので、ぼんくらな小生に考える余地などなく、思いつくまま所感を述べさせていただきます。

現在、金沢問屋センターの組織に労務委員会が存在しているのに人材確保検討委員会とは何んぞやとお思いと考えますので生い立ちを少しご説明申し上げます。

国の中央官庁に、雇用促進事業団があり、中小企業雇用改善対策として人材確保検討事業があります。その事業の指導に添って発足した委員会です。

発足して今年で2年目になるのですが、初年度

㈱ヴァンガード金沢は設立一周年を迎えた今日であります。残念ながら満足のいく現状とは言えません。しかし、中央大手資本の進出の勢いは流通の部門においても、小売業の分野を先頭に大変活発な動きを見せており、問屋の分野にもそれにつれて変動しはじめました。一方、働き手となる人手不足もまだまだ厳しさが強まる社会環境であります。これらの条件の下で生き残るには、それ以上の高マージンを得られる企業か、徹底的な機械化を図れる企業とならねばならないのではないのでしょうか。われわれも多数の方々からいただいた貴重なご意見、ご要望をもとに、システムの改善をし、より一層の業務内容の充実而努力し、利用者側に有益なサービスの提供できる会社になりたいと念じております。

しかし、この際、自分達の体格、体質に合うシステムを捜すよりも、自らをそのシステムに合わせて見ることを一度お考えいただくことも近道ではないだろうかと思ひ、借越ながらご提案申し上げます。

我々は自らの手で作った㈱ヴァンガード金沢が、立派に成長することが次期の情報化時代に全組合員のお役に立てることだと確信しております。今後共絶大なるお力をお与え下さいますようお願い申し上げます。

は労務委員会、厚生委員会、広報委員会と近代化研究会からの選抜メンバーにて構成された委員会で、小生も一員として末席をけがしてました。

さて、金沢問屋センター全般としての雇用環境は非常に厳しい問題です。そこで各社の努力は当然ですが金沢問屋センターとしては、新卒予定者は勿論のこと、一人でも多くの人達に存在を確認していただき、注目され、親しまれ、指示される事が最も重要な事だと思われまます。

そこで金沢問屋センターの各企業により優秀な人材を確保することが、北陸での流通市場のリーダーとして確固たる位置づけされるのではないのでしょうか。それ故、今年度は「美人は見つめられる事によって作られる」を合言葉に金沢問屋センターの存在をアピールし、イメージアップを図る事を委員会運営の最重要課題にしたいと思っております。

最後に誌面をお借りしてお願いですが、委員の皆さまのご賛同なくしては委員会は活動しませんのでご協力よろしくようお願い申し上げます。



# 問屋町交通安全対策協議会第23回通常総会

問屋町交通安全対策協議会は6月18日(火)午後3時より、金沢流通会館4階研修室において、第23回通常総会を開催した。

当日は金沢東警察署署長尾倉和男氏、同問屋町派出所主任岩井讓氏を来賓に迎えて、優良運転者の表彰に引き続き議案審議が行われ、原案通り全て承認した。

問屋センター内の事故件数は前年度より増加し、会員諸氏は事故絶滅の決意を新たに誓い終了した。



## ◆問屋団地内の事故件数及び従業員の関する事故件数

| 年度  | 事故種別 | 発生件数 | 従業員に関する事故件数 |          |
|-----|------|------|-------------|----------|
|     |      |      | 関係する加害者数    | 関係する被害者数 |
| 62年 | 人身事故 | 13   | 1           | 0        |
|     | 物損事故 | 24   | 6           | 3        |
|     | 合計   | 37   | 7           | 3        |
| 63年 | 人身事故 | 12   | 7           | 1        |
|     | 物損事故 | 57   | 13          | 28       |
|     | 合計   | 69   | 20          | 29       |
| 元年  | 人身事故 | 17   | 2           | 0        |
|     | 物損事故 | 45   | 14          | 11       |
|     | 合計   | 62   | 16          | 11       |
| 2年  | 人身事故 | 10   | 5           | 5        |
|     | 物損事故 | 57   | 14          | 18       |
|     | 合計   | 67   | 19          | 23       |

## ◆事故発生形態別表

| 年度  | 種別 | 人 身 |    |     |    | 物 損 |    |     |    |
|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
|     |    | 出会頭 | 側面 | その他 | 計  | 出会頭 | 側面 | その他 | 計  |
| 62年 |    | 6   | 3  | 4   | 13 | 7   | 5  | 12  | 24 |
| 63年 |    | 7   | 2  | 3   | 12 | 21  | 15 | 21  | 57 |
| 元年  |    | 10  | 2  | 5   | 17 | 16  | 10 | 19  | 45 |
| 2年  |    | 5   | 2  | 3   | 10 | 17  | 11 | 29  | 57 |

## ◆優良運転者表彰名簿

|       |       |             |
|-------|-------|-------------|
| 20年以上 | 東 留明  | (株)キョー・エイ   |
| 15年以上 | 中川 里子 | 三 和 通 商 (株) |
| 10年以上 | 高田 勉  | (株)キョー・エイ   |
| "     | 池田 齊代 | 三 和 通 商 (株) |
| 5年以上  | 伊関 衛  | 石 織 (株)     |
| "     | 平野 太吉 | "           |
| "     | 道願 満則 | "           |
| "     | 横山 泰章 | 小 川 (株)     |
| "     | 堀貫 進  | "           |
| "     | 山科 克己 | 金 沢 機 工 (株) |
| "     | 藤本 和成 | "           |
| "     | 蛭谷 康夫 | "           |
| "     | 寺井 政一 | 三 和 通 商 (株) |
| "     | 鏡屋 孝吉 | "           |
| "     | 前川 智幸 | "           |
| "     | 河本 文恵 | "           |
| "     | 前川 英樹 | 丸 与 商 事 (株) |
| "     | 野々村嘉子 | "           |
| "     | 中田 正充 | (株)マルシン     |
| "     | 中宮 光法 | 理 光 商 事 (株) |

以上20名

## ◆事故多発場所

| 年度  | 場 所                           |
|-----|-------------------------------|
| 62年 | 石川日産自動車販売(株)横<br>石川トヨペット(株)前  |
| 63年 | 石川日産自動車販売(株)横<br>石川トヨペット(株)前  |
| 元年  | 法務局問屋町出張所横<br>石川日産自動車販売(株)横   |
| 2年  | 石川日産自動車販売(株)横<br>金沢信用金庫問屋町支店前 |

## ◆グリーンカレンダー回収状況

| 内 容         | 年 度 |     |     |    |
|-------------|-----|-----|-----|----|
|             | 62年 | 63年 | 元年  | 2年 |
| 記 入 良       | 45  | 70  | 69  | 58 |
| 記 入 不 良     | 51  | 46  | 34  | 44 |
| 未 回 収       | 43  | 31  | 45  | 45 |
| 内 交 通 違 反   | 57  | 27  | 22  | 13 |
| 物 損 事 故     | 95  | 80  | 114 | 90 |
| 人 身 事 故     | 13  | 11  | 8   | 16 |
| 無 事 故 無 違 反 | 19  | 36  | 41  | 39 |

# ◆新入社員歓迎式◆

4月2日午前10時より金沢流通会館1階大ホールパルスにおいて、平成3年度新入社員歓迎式が行われ、37社215名(男子92名、女子123名)が出席した。

小川理事長の挨拶に続き、来賓の金沢経済大学学長小西滋人氏より祝辞を賜わった。

これに対して(株)ヤギコーポレーションの六角康成さんが「一日も早く社風になじみ、会社の発展に努めることをお誓い申し上げます」と述べ閉式した。

式後、(株)太陽企画専務橋本武志氏が「企業はどんな従業員を望むか」と題して、1時間にわたり記念講演を行った。



# ◆新入社員電話教室◆

新入社員電話教室は4月3、4日の2日間に22社113名が参加して行われた。

N T T金沢オペレータサービスセンタより講師を迎え、ビジネス電話の応対、マナーについて具体的な事例を交えながら、実際に受話器をとり、2時間あまりにわたって指導を受けた。



# ◆新入社員研修会◆

4月9日~12日の4日間、根上町立青年の家で、22社95名(男子48名、女子47名)の新入社員が2組に分かれて、(勤修養団)の青木富造、杉本久美子の両講師に指導を仰いだ。講話や静座行の他、8~10名の村に分かれ、話し合い学習や重心行などを行った。話し合い学習の成果は次のとおり。



## 平成3年度新入社員月間実行目標

### A組

#### 年間目標 I love company. (会社)

- 4月 最初は誰でも What's your name?
- 5月 人より先に明るくいつでも挨拶を
- 6月 いつでも Let's smile.
- 7月 いつも清潔すてきな服装
- 8月 元気モリモリ健康一番
- 9月 感謝してこそ明日につながる
- 10月 体力のあるヤツは仕事ができる
- 11月 ホウ・レン・ソウを忘れずに
- 12月 整理整頓、心の整理はまわりから
- 1月 仕事は給料だけじゃない、心だ
- 2月 その一瞬、二度ともどらぬ若いとき
- 3月 初心を忘れずさらなる飛躍

### B組

#### 年間目標 自分を信じ、仕事に誇りを持つ

- 4月 気をつけよう、上司の名前とお客の名前
- 5月 言葉と言葉のキャッチボール
- 6月 梅雨にも負けないスペシャル笑顔
- 7月 服装は心の身だしなみ
- 8月 一に健康、二に売上げ、三四がなくて五に笑顔
- 9月 初志貫徹、星一徹
- 10月 気力、体力を充実させよう
- 11月 やる気、元気、根気で仕事
- 12月 お仕事の能率上げる整理整頓
- 1月 心と心の壁パス
- 2月 大事な時間、それは考える時間
- 3月 気を引き締めて新たな出発

# 厚生年金基金設立に向けて!!

全国卸商業団地協同組合連合会（略称・商団連）では、かねてより検討していた厚生年金基金制度を発足するために、将来統一することを前提に全国を①北海道・東北、②関東、③中部・近畿、④中国・四国、⑤九州・沖縄の5ブロックに分けスタートすることとなりました。

厚生年金基金には、1つの企業が単独で基金を設立する**単独設立**、親子関係にある複数の企業が共同して1つの基金を設立する**連合設立**と、多数の企業が集まって強力な指導統制力をもつ組織団体（協同組合など）のもとで共同して1つの基金を設立する**総合設立**の3つの設立形態があります。

このうち、総合設立の厚生年金基金は、これまでと同種同業単位でしか認められませんでした。商団連から昭和62年秋に厚生省に強く要望したこともあり、平成元年4月に設立認可基準が改正され、我々のように異業種の企業団体である卸商業団地でも基金がつけられるようになりました。これは基金制度25年の歴史の中でも画期的なことです。

この新しいタイプの基金は「地域型厚生年金基金」と称し、同一都道府県内に限られていましたが、こ

のたび平成3年7月に設立認可基準がさらに改正され、複数県内でも設立が可能となりました。

我が国は世界でも例をみない速さで高齢化社会への道を辿っています。国民の老後生活に対する関心が高まる中で、国の年金に上乗せ給付を行い、より豊かな老後生活を実現する基金制度は、時代の要請に応えるものとして脚光を浴び、現在、厚生年金被保険者のほぼ3人に1人にあたる約1,000万人が加入員となっています。

国民生活の多様化、高度化に伴い、高齢者の生活も多様化、高度化してきている中で、企業年金の中核たる基金制度は、老後生活における多様なニーズに応え、サラリーマンがより豊かな老後生活を送るための手段として、ますますその役割は重要となってきました。又、基金を設立すると、年金給付の他に福祉施設事業を行うことができるなど、福利厚生の実現もはかれ、優秀な人材を確保できるといった企業側にとってのメリットもあります。

当組合は中部・近畿ブロックに所属しており、今後説明会等を開催し、組合員各社の多くのご参加をお願いしたいと思っております。

## 厚生年金基金のしくみ

### 〔給付のしくみ〕

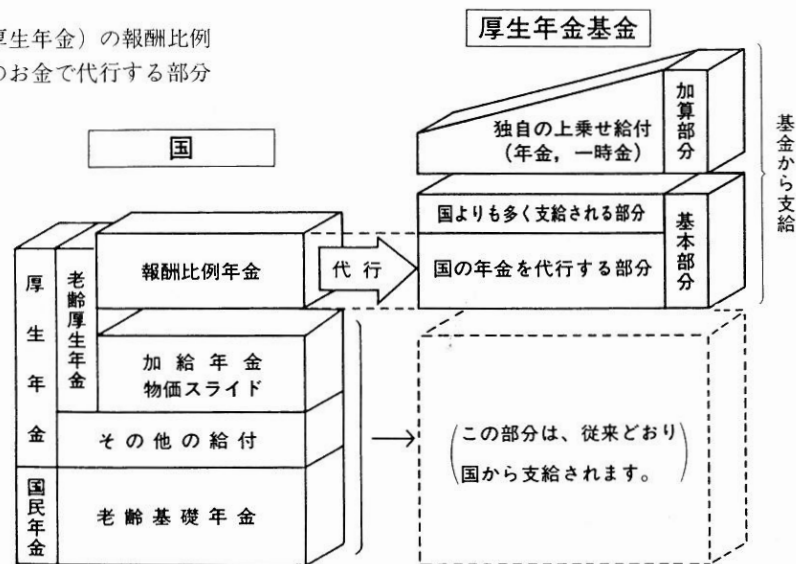
基金の給付には基本部分（年金）と加算部分（年金・一時金）があります。

#### ■基本部分は

- 「国の厚生年金保険」（老齢厚生年金）の報酬比例年金が移ってきて、私たちのお金で代行する部分です。
- 国より手厚い終身年金が支給されます。

#### ■加算部分は

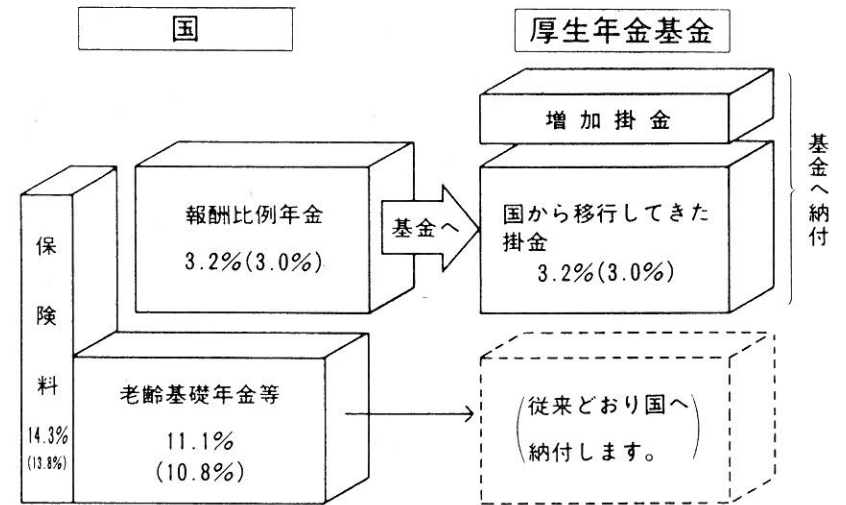
- 退職金準備の役割をはたす部分です。
- 終身年金または一時金が支給されます。



### 〔掛金のしくみ〕

基金に加入しますと、従来国に納付していた厚生年金保険の保険料の一部を基金へ納付し、残りの保険料を従来通り国へ納付していただきます。

このほかに、事業主負担として新たな掛金（増加掛金）を基金に納付していただくことになります。



( ) は女子の掛金率です。

## 厚生年金基金加入のメリット

### 事業主にとってのメリット

- ① 人材の確保・雇用の安定に寄与し、従業員の士気を高めます。また、企業のイメージアップにもつながります。  
厚生年金基金は、まさにピッタリの制度です。
- ② 退職金制度と調整することで退職金負担の平準化がはかれます。
- ③ 掛金は全額損金（必要経費）に算入できます。これによる節税分を考慮すれば、実質負担は大幅に軽減されます。
- ④ 年金資産の運用利差益で、将来、年金（または一時金）給付の増額や福利厚生の実現をはかることができます。
- ⑤ 「賃金の支払の確保等に関する法律」による退職金の保全義務が免除されます。
- ⑥ 事業主、役員も加入できます。

### 従業員にとってのメリット

- ① 掛金の負担増なしで、国の年金に上乗せした厚みのある年金が終身保障されます。
- ② 国の年金では、支給開始年齢の制限がありますが、基金では退職後60歳になり基金の加入員でない場合は、他で働いていても年金が支給されることになっていますので、それだけ有利です。
- ③ 年金の通算制度により、老後の年金が十分確保されます。
- ④ 退職金支払いのための資金が基金に確実に積立られますので、安心です。
- ⑤ 基金で行う各種福祉事業を利用できます。
- ⑥ 老後の生活設計や年金に関する相談等、きめ細かなサービスが基金事務局で受けられます。

# 人材確保検討委員会の活動!!

昨年度より3年間の予定で計画されている人材確保推進事業については、今年度はより積極的なPR活動を行っていくこととなり、準備が進められている。

4月には“TOGETHER”と題されたビデオテープの収録が行われ、新入社員歓迎式の様子や各社の仕事風景及び若手社員による座談会の撮影を行った。特に座談会については簡単な打ち合わせをただけで、会話がはずみ、終了したときには撮影スタッフより思わず拍手が出る程であった。このビデオテープは今後更に撮影を重ね、今年中に出来上がる予定である。

また、この他にガイドブックやポスター等の企画も進んでおり、人材確保検討委員会では、これらのツールを各学校へ配布していく予定である。



“TOGETHER”の収録風景

今年度の班長商社は下記のとおりです。

- 第1班 丸西食品工業(株)
- 第2班 多田与(株)
- 第3班 山之内(株)
- 第4班 ニチパン(株)
- 第5班 中嶋帽子

- 第6班 (株) 前垣
- 第7班 北島(株)
- 第8班 荒木商事(株)
- 第9班 理光商事(株)
- 第10班 明希(株)
- 第11班 大王製紙(株)
- 第12班 (株) 賛協

問屋町町会からのお知らせ

## 平成3年度 晴れの受章者

勲五等瑞宝章

大宗(株) 会長

大西 醇一 氏



長年にわたり繊維卸業に精励するとともに、金沢繊維卸商協同組合理事長、石川県繊維製品卸商業組合副理事長、石川県中小企業団体中央会理事などの要職を務め、業界の振興発展に貢献した。

# 協同組合金沢問屋センター 平成3年度 福利厚生事業計画

### 第24回商社対抗野球大会

日時 5月10日(金)~7月30日(火) 午前6時開始  
場所 協金沢問屋センター球場

### 第17回商社対抗ソフトボール大会

日時 9月29日(日) 午前6時開始  
雨天時 10月6日(日)  
場所 協金沢問屋センター球場

### 第19回社員園遊会

日時 10月5日(土) 午前11時~午後5時  
場所 金沢流通会館及び周辺道路を歩行者天国にして

### 第4回ゴルフ大会

日時 11月3日(日) スタート時間未定  
場所 片山津ゴルフ倶楽部 コース未定

### 第10回商社対抗ボウリング大会

日時 2月上旬 午後6時~午後9時  
場所 百万石グラウンドボウル

### 健康診断

日時 8月28日(水)~31日(土) 午前9時~午後4時  
場所 金沢流通会館 2階小ホール

### 成人病予防検査

日時 8月19日(月)~22日(木)と2月下旬の2回実施  
午前8時30分~正午  
場所 金沢流通会館 2階小ホール

### 茶道教室

日時 毎週水曜日 午後5時30分より  
場所 金沢流通会館 4階和室  
講師 裏千家 堀宗鈴先生

### 華道教室

日時 毎週金曜日 午後5時30分より  
場所 金沢流通会館 4階和室  
講師 草月流 越井萌春先生

### 書道教室

日時 毎週火曜日 午後5時30分より  
場所 金沢流通会館 4階和室  
講師 溪教書道院 北川泰風先生

### きもの着付け教室

日時 毎週月曜日 午後6時より  
場所 金沢流通会館 4階和室  
講師 装道きもの学院 東節子先生  
※9月より新たに生徒を募集します。

### バドミントン同好会

日時 毎週木曜日 午後6時より  
場所 金沢市営浅野川市民体育館  
(金沢市大河端町)

